

課題等への対応策

施設名称

施設名称	江南区文化会館
所管課	江南区地域課(亀田地区公民館)

課題等への対応策(市)

	課題等	対応策(いつまでに、どのように、対応するか。)
1	文化会館の館長会議を実施して交流しているとのこと。見学会なども実施して、具体的に参考事項を把握するべきである。	各館の施設見学は、既に行っているので、今年度は、他館の自主事業等への取り組みについて、実際に見学を行う。
2	他の文化会館と実施方針、管理方法などの意見交換するなど、交流を実施するべきである。 直営施設として江南区文化会館からリーダーシップを発揮して欲しい。	オープン以来、近隣の北区文化会館、秋葉区文化会館と意見交換会を実施している。また、県の公立文化施設協議会でも意見交換も行っている。今後も引き続き意見交換を実施するとともに、他区の地域課とも連携し、各館の問題点や共通課題解決に向け取り組んでいく。
3	職員の訓練は他の指定管理者の担当を招いた講習会などがあってもよいのではないか。	現在、専門家を招き、一般向けの照明・音響・舞台の技術講習やレセプションの講習会に職員も参加しスキルアップを図っていく。
4	部屋種別を示す掲示版(サイン)が見にくい。工夫が必要である。	平成26年度に実施済
5	複合施設ならではのメリットを生かす取り組みを検討するべきである。	江南区文化会館がある、アスパーク亀田(亀田総合運動公園)全体で開催する「アスパークまつり」を地域や体育館と連携し実施するとともに、他の事業でも更に連携できる取り組みを行う。
6	郷土資料館については、体験型にするなど、活用方法について抜本的な見直しが必要である。	平成26年度、勾玉づくり体験づくり教室(小学生対象)、縄文土器づくり体験教室(中学生以上対象)を実施。今後も、体験健教室を中心に活用を図る。
7	工作室の活用について、窯もあることから、学校へ宣伝し、開放等についても検討して欲しい。	平成26年度に中学生や一般向けに陶芸教室を実施。今後の活用についても、陶芸サークル等の意見を聴取する。
8	パントリーの活用を検討するべきである。	コンサート開催などの音楽演劇ホール利用時に、市民サービスの一環として来場者への飲食の提供を実施。今後も先進地の事例を参考に更なる活用を図る。